

青年話創会 2025新潟大会に参加して

松戸支部 青山 貴仁



今年の青年話創会は千葉会と同じ関東甲信越ブロック会の新潟会様で開催されるので私は設営側の参加者でありました。

ファシリテーター役を依頼され、議論が円滑に進むように努めましたが、私の参加したテーブルの討議テーマが「組織運営・受注活動について」ということで、個人事務所で入札案件等の業務は皆無の私は組織運営を事務所協会、受注活動を新規会員及び青年部員勧誘獲得活動と捉え、議論に臨みましたが、ファシリテーター自身がテーマに外れる方向で進めることに申し訳なさを感じながらも、他の単位会の参加者は私と同じ個人事務所の方、組織事務所の方、施工会社の方と様々なお話を聞くことができ、具体的な内容として

- ・人材不足(設備設計者・現場監督)による技術の継承問題
- ・自分の出来る範囲のことを守り、範囲外は外注(無理をしない)することが助け合いになる。
- ・事務所協会の会員でいることで仕事が受注できている(横の繋がり)
- ・知り合いやSNSを通して人材獲得(若手である！)
- ・子育て世代の女性をパートで雇う(働く時間が増え喜んでいる)
- ・自分で若手を育成する(素人でも)
- ・何十年と人が変わらない、設計事務所の敷居が高い。

上記のご意見があり、基本的に思っていること、この世代が持つ懸念や認識、将来への展望など都市圏と地方の差は若干あるのかもしれませんが、言う程の大きな差は無いと感じました。

テーブルのまとめとして、働き方改革が足かせであるが、Zoomなどではなく対面での会議・営業・打合せ、即ち原点回帰、コミュニケーションの大切さであり、新しいものに踊らされてはならず、使われるのではなく使うこと、デジタルとアナログの融合をしつつ事務所を継続させることの重要性のため仕事や人材の種まき、興味・意欲・横の繋がりを持つため事務所協会会員であることで持続可能になるとの結論をもって発表とさせていただきました。

最後に各単位会参加者の皆様、貴重なご意見を誠にありがとうございました。

私も千葉会での若手育成に力を注ぎますので、会員皆様のご協力を宜しくお願い致します。

